

## お知らせとお願い

鹿児島市立病院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性があると思われる方で、本研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	当科における膵嚢胞を有する膵癌の臨床学的特徴について
実施予定期間	倫理審査委員会承認後 ~ 2025年3月31日
研究の対象	(対象期間・対象診療科・対象疾患) 2015年4月1日~2023年5月31日までに鹿児島市立病院 消化器内科にてEUS-FNA(超音波内視鏡下吸引生検)を行い、膵癌と診断された20歳以上の方
使用する情報等	年齢、性別、主膵管径、腫瘍径、嚢胞の種類、嚢胞の個数、嚢胞の局在、臨床的進行度、手術施行の有無、組織学的進行度(切除例)、発見契機(有症状、健診、膵疾患フォロー中、他疾患フォロー中)等
研究の概要	<p>近年、膵嚢胞に対する臨床実地医の意識向上や各画像診断modalityの進歩により膵嚢胞が多く発見されるようになりましたが、的確な診断法や経過観察法、あるいは治療方針の確立が重要になります。膵癌(通常型膵管癌)は全固形癌において、5年生存率が8.5%と最も低値であり難治性の癌になります。一方、膵嚢胞は膵癌と密接な関係があるといわれています。膵嚢胞の代表格である膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)については、国際ガイドラインが作成されていますが、IPMNそのものが癌化する膵管内乳頭粘液性癌(IPMC)の他、IPMN自体は全く変化しないものの、IPMN以外の他の膵実質に膵癌が発生するいわゆる「併存膵癌」が問題となってきています。また、IPMN以外の膵嚢胞であっても、膵嚢胞を有する膵臓には、膵癌が発生するリスクが高いことも報告されています。IPMN以外の膵嚢胞の種類としては、分枝膵管が閉塞してできる貯留嚢胞の他、浮腫性膵炎後に膵実質と被膜の間に液体が貯留する仮性膵嚢胞や腫瘍内部が壊死して嚢胞変性を伴ったものなどにも分かれます。膵嚢胞をフォローアップしていく中での膵癌については前述のごとく多くの既報がありますが、膵癌と診断された症例における嚢胞の種類、個数、局在などに言及した報告は少ないのが現状です。</p> <p>本研究では、膵癌と診断された患者において、膵嚢胞を有するものと有さないものに分けて臨床的背景について比較を行い、日常診療における膵嚢胞の臨床的意義について検討します。膵嚢胞の臨床的意義を見出すことで、難治性癌である膵癌の早期発見やフォローアップについての新たな知見を見出すことを目的としています。</p>
倫理審査	鹿児島市立病院治験及び臨床研究審査委員会承認され、病院長の許可を受けて実施しています。
個人情報の保護	収集する情報項目に氏名や住所は含まれません。研究対象者の識別は研究目的に特別に割り振られた研究番号を使って管理し、対応表を作成します。対応表が院外に出ることはありません。
研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。
結果の公表	研究結果は国内外学会での発表及び論文として関係雑誌に投稿予定です。
知的財産権	本研究により得られる知的財産権は鹿児島市立病院に帰属します。
研究の資金源	本研究を実施するにあたり、資金提供は受けていません。
利益相反	特にありません。

お問い合わせ先・ 相談窓口	<p>病院ホームページにおいて研究について公開し、問い合わせ等に応じて、患者さん等からのご希望があれば、その方の情報は研究に利用しないようにします。</p> <p>なお、既に解析・発表公開後のデータ等については、その方のデータ削除の措置が困難になる場合があります。</p> <p>研究への使用の拒否の意思を表明されても、鹿児島市立病院における診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益をこうむることはありません。</p>
	<p><b>研究責任者</b> 氏名：田口 宏樹                      所属：消化器内科</p> <p>連絡先：鹿児島市立病院</p> <p>〒890-8760 鹿児島市上荒田町37番1号</p> <p>TEL：099-230-7000（代表） FAX：099-230-7111</p>